



# 市議会議員選挙の年 市議会議員選挙の年

2026年、市議会議員選挙の年を迎えました。

2026年、市議会議員選挙の年を迎えました。大野とし子（現・左から2番目）、うづき武彦（前・右から2番目）、松本ひろかず（前・1番左）、坂巻かつ（前・1番右）、角田たえ（新・中央）の5人の市議予定候補は、元旦から市内全域で政策を訴えました。

平和と民主主義壊す  
危険な流れ許さない

「失われた30年」—経済成長が止まり、賃金が上がらず、人口減少に歯止めがかからず、物価高騰に有効な対策が打てない：行き詰った政治の中であつた高市政権は、日本初の女性首相といふこともあり、高い内閣支持率で出発しました

# 新舊四部

発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市柏壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

た

しかし、「くらしを何とかしてほしい」という国民の願いとはかけ離れた政治が行われています。昨年12月には軍

4月の市議会議員選挙は、くらし、平和、民主主義破壊の危険な政治に「ノー」の声を春日部から上げる絶好の機会です。

事費をGDP比2%にまで増額し、経済成長の柱を軍需産業強化に据えた大企業支援の補正予算を国民民主党と公明党の協力で成立させました。夏の参議院選挙ですべての野党が公約した「消費税減税」

や「賃上げ」に背を向け、国  
民生活を守る柱は見当たりま  
せん。

さらに、外国人への不安や排斥感情をあおり、中国など特定の国を敵視し安全保障への危機感をあおり、大軍拡と「スピア防止法」など、民主主義破壊の道を突き進もうとしています。危険な流れを許すわけにはいきません。

## 高市政権ノーの声 春日部から上げよう

- 春バスの充実とデマンド交通の導入で通院や買い物に困らないまちづくり
- 公共施設は廃止でなく再整備で市民の自主活動を保障など、市民のくらしを守り、安心して住み続けられる市政を実現する政策を訴えました。

- 学校給食費の無償化
- 国保税や介護保険料の引き下げ

- 春バスの充実とデマンド交通の導入で通院や買い物に困らないまちづくり
- 公共施設は廃止でなく再整備で市民の自主活動を保障

● 公共施設は廃止でなく再整備で市民の自主活動を保障など、市民のくらしを守り、安心して住み続けられる市政を実現する政策を訴えました。

## 〈生活相談は日本共産党へ〉

並木としえ TEL090-3916-0168

今尾やすのり TEL 090-1032-483

大野とし子 090-7843-4945

木下みえ子 050-3559-1640

日本共産党市議団本ページ

https://www.ipn-kasukabe.jp/



# 学童充実へ、勝訴報告の集い

## 判決の本旨は学童保育の質の確保

12月14日「春日部学童保育の歴史と未来を守る市民の会」主催で、春日部学童住民訴訟・高裁勝訴判決報告の集いがポボラにておこなわれました。

市の学童で働く支援員の皆さんのが参加されました。市議団からは木下みえ子市議が参加しました。

そこで市民の会では、21年6月さいたま地裁に提訴（人件費返還を求める）24年5月22日請求棄却。

裁判では、契約の確認や議事録から市が後追いで実態の追認をしてきたことが示されました。また、常勤支援員は学童の学会からの意見書・研究論文で、準備も加えた勤務時間のガイドラインの順守は努力義務にとどまらず、確保する義務があることが裁判所の判断につながったことが報告されました。

裁判では、契約の確認や議事録から市が後追いで実態の追認をしてきたことが示されました。また、常勤支援員は学童の学会からの意見書・研究論文で、準備も加えた勤務時間のガイドラインの順守は努力義務にとどまらず、確保する義務があることが裁判所の判断につながったことが報告されました。

## 裁判で何が問われたか

### その意義

この裁判で問われたのは次の2点です。

①学童保育の「質」…こど

の間で常勤支援員の定義を実態

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

1/11(日) 内科系 成松医院 (上蛭田64-1) ☎763-5211 小児科系 ファミリークリニックまの

(千間1-59-5) ☎736-5155 外科系 正仁堂整形外科クリニック (南中曾根1070) ☎738-0641

1/12(日) 内科系 東都春日部病院 (大畑652-7) ☎739-2000 小児科系 グレース家庭医療クリニック

(大金610-10) ☎718-0107 外科系 東都春日部病院 (大畑652-7) ☎739-2000

